

第8回自動車安全技術プロジェクトチーム会議の概要

1 開催日時等

(1) 日時 平成28年9月14日(水) 午後1時30分～午後2時40分

(2) 場所 ウィンクあいち 1301会議室

(3) 出席者

愛知県副知事 森岡 仙太

【企業】

石尾 渉 オムロンオートモーティブエレクトロニクス(株) 開発統括室技術開発部長

河野 慎司 アイシン精機(株) 走行安全技術部長

菅沼 正行 中部日本自動車学校 常務取締役

樋口 正浩 (株)デンソー ADAS推進部 事業推進室長

松永 栄樹 (株)アドヴィックス 制御第2技術部理事

末木 隆 トヨタ自動車(株) ITS企画部 ITS開発室長

【大学】

小栗 宏次 愛知県立大学 情報科学部 教授

鈴木 達也 名古屋大学 大学院工学研究科理工学専攻 教授

武田 一哉 名古屋大学 大学院情報科学研究科メディア科学専攻 教授

【行政】

国土交通省中部運輸局、豊田市都市整備部交通政策課

愛知県産業労働部、振興部、県民生活部、建設部

愛知県警察本部

2 議事概要

●副知事挨拶の後、事務局及びメンバーから、プロジェクトチームの取組状況及び関連の取組について報告を行った。

●取組状況の報告の後、意見交換を行った。主な発言は以下のとおり。

【主な発言・報告】

○インフラと道路が協調した交通事故低減のためのシステムが必要。インフラ整備は、一企業だけではなかなかできない。このプロジェクトチームで、我々も貢献していきたいと思う。

○事故分析WGでの分析の結果が、当社としての優先的な開発課題の設定に非常に役に立っている。

○交通事故はすぐに減るものではないが、こうした地道な活動が効いてくる。

○事故分析WGの新たな取組であるドライブレコーダーの事故映像から人間の行動力を

分析、先読みする視点は、当社の技術開発に非常に役立つと思う。

- ITSコネクトの車載器の普及に向けて、積極的に取り組んでいくこととしているが、併せて路側機等のインフラについては愛知県、国に配備を進めてもらいたい。
- 昨年度のプロジェクトチームの活動の一環である研究会の成果を受け、今年度、産学官連携の研究開発プロジェクトである「知の拠点あいち重点研究プロジェクト」に採択された。
- COIプロジェクト9年間の最終目標である社会実装に向けて、色々な技術を企業へスピンアウトしていきたい。
- 「第10次豊田市交通安全計画」で先端技術の活用促進の方針を掲げ、トヨタ自動車のプローブ情報や救急車搭載のITSコネクト技術を活用して、事故低減の取組を進めていきたい。
- 高齢化が急速に進む中、高齢者に対応した車両を作ることは非常に重要。一人一人が安全意識をさらに高く持ち、その支援として安全技術がさらに広がっていくと考えられる。引き続き、事故統計の提供などで支援させていただく。